

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	モンテッソーリ こどもの家		
○保護者評価実施期間	令和6年 4月 1日		～ 令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和6年 4月 1日		～ 令和7年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家庭に近い環境設定で、ご利用児の皆さんが訓練させられていると感じることがないような活動と職員の関わり。	モンテッソーリの理念を大切にし、教具に囚われすぎることなく、ご利用児さんが選択した活動を楽しみながら療育を行うよう気を配っている。	小さなことでも都度、職員間での情報共有や意見交換などを行い、ご利用児さんの興味関心や予測される行動などを踏まえたうえで、活動プログラムを組み立てる。
2	保護者の皆さんとの情報交換などをこまめに行えているところ。	保護者の皆さんが相談しやすいように、日頃から情報交換など行っている。また、個人面談等定期的に行っている他、要望があれば即座に対応している。	家族交流会の希望をとる等、保護者同士の交流も検討する。
3	支援について職員同士が付度なく話し合いが出来るところ。	気が付いたこと、感じたことなどを配慮しながら伝えるようにしている。	現在の良いところを継続しつつ、研修の外部講師を検討するなど、支援の視点が狭くならないようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ST・OT・PTなどセラピストとのつながりが希薄。	教育者が多く、繋がる機会が少ない。	ご家族を通すなどして、助言を頂く機会を作る。
2	規定の人数は満たしているが、丁寧に支援を行っている分、ご利用児：スタッフのバランスがとれていないと感ずることがある。	一人一人に合った丁寧な関りを行っている。	集団と個別のバランスをとりながら支援を行う。
3	避難訓練や安全マニュアル等、提示しながらの説明やお知らせは行っているが、ご家族に周知・浸透していないことがアンケートの結果で分かった。	繰り返し行っていない。	周知の方法を法人内で検討する。